

【インフルエンザについて】

発症日は 月 日です。

内服開始日を0日として、3日後に熱があれば

再度受診して下さい。(月 日)

発症モデル	発症	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目
児童・生徒	発熱 	発熱 	発熱 	解熱 	解熱 1日後 	解熱 2日後 		
	出席停止						出席可能	
乳・幼児	発熱 	発熱 	解熱 	解熱 1日後 	解熱 2日後 	解熱 3日後 		
	外出を控える						外出可能	

症状 高熱・寒気・咳・関節痛・嘔吐・下痢

治療

①インフルエンザの特効薬を使う

(インフルエンザのお薬を使わなかった場合、高熱が5日以上続きます)

②症状を和らげるお薬を飲む

(咳、鼻みず、下痢止め等)

③解熱鎮痛剤の使用

※お薬の種類によっては、インフルエンザの時には使用できないものがありますので、お手持ちのお薬を使用する時にはご相談ください。

家庭で気を付けること

①安静

②体温の調節

寒気がある時には厚着をしてもかまいませんが、熱が上がりきった時には一枚脱がせるなど体温調節に気を付けましょう。

③食事

水分はこまめに取りましょう。

④入浴

発熱していても体調が良ければ入浴しても良いです。(長湯は控えて湯冷めしない様に)

⑤手洗い・うがい

⑥加湿

登園・登校について

※学校・保育園などには発症した後5日を経過し、かつ、解熱した後2日(幼児は3日)を経過するまで休んでください。

※3日以上発熱が続く時、他の症状が悪化した時は合併症も考えられますので、再度受診してください。

※発症した日を0日目とします。

再診の目安

①咳で苦しい、耳を痛がる、水分・食事が取れない、頭を痛がって何度も吐く時には早めに受診してください。

②うなされる、うわごとを言う、歩き回る等があれば、転倒・転落などの事故に注意し、すぐに病院に連絡してください。

2024.12 坂ノ市こどもクリニック
(097)593-2202